

参考書類目録 (三井 淳平)

① 三井 淳平 のプロフィール	1 ページ
② 三井 淳平 のレゴ創作活動記録の要約	8 ページ
③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動	7 ページ
④ 別紙(1) 掲載記事(個人)	7 ページ
⑤ 別紙(2) 掲載記事(東大レゴ部)	8 ページ
⑥ 東大レゴ部概要	1 ページ

所属等

氏名 : 三井 淳平
学部・研究科等 : 工学系研究科
学科・専攻 : マテリアル工学専攻 修士課程
学年 : 1 年

活動内容の要約

三井 淳平 は玩具のレゴブロックを素材とした作品制作や関連する課外活動に取り組んでいる。同君の作品は、常にこの分野で世界に大きな反響を与えており、海外のイベントにおいては招待講演を依頼されるなど、その活躍の舞台は国内に止まらない。同君は作品制作や展示活動を通じて、世界遺産や子どもの権利保護などのチャリティーイベントにも積極的に参加し、社会貢献を行っている。東京大学においてはレゴ部を創設し、初代部長として東大レゴ部の立ち上げを行い、展示活動にも精力的に取り組んでいる。特に同君が中心となって制作した『安田講堂』は、東京大学創立 130 周年記念事業として認定され、東京大学内に常設展示されている。

氏名

みつ い じゅん ぺい
三井 淳平



連絡先

携帯: 080-6124-6909

E-mail: junlego6@yahoo.co.jp (個人)

j-mitsui@iis.u-tokyo.ac.jp (研究室)

略歴

平成 15 年 (2003 年) 3 月 私立灘中学校 卒業

平成 18 年 (2006 年) 3 月 私立灘高等学校 卒業

平成 18 年 (2006 年) 4 月 東京大学 教養学部 理科 1 類 入学

平成 22 年 (2010 年) 3 月 東京大学 工学部 マテリアル工学専攻 卒業

平成 22 年 (2010 年) 4 月 東京大学大学院 工学系研究科 入学

代表的な作品



実物大ドラえもん

制作(2005)



1/40 戦艦大和

制作(2002-2009)

教育および社会貢献

教育

2007 年度灘校土曜講座「レゴブロックによる立体表現」
私立灘中学校
平成 19 年(2007) 6 月 23 日(土)

2008 年度灘校土曜講座「レゴブロックによる立体表現」
私立灘中学校
平成 20 年(2008) 9 月 20 日(土)

2009 年度灘校土曜講座「レゴブロックによる立体表現」
平成 21 年(2009) 6 月 20 日(土)
私立灘中学校

サイエンスアゴラ 2009 地球の未来 日本からの提案 II
平成 21 年(2009) 11 月 3 日(火)
東京国際交流館
レゴブロック宇宙エレベータークライマーレース 2009 審査員

Workshop for Thai children

平成 19 年(2007) 1 月 4 日(木)-1 月 9 日(火)	Emporium Department Store, Bangkok, Thailand 【参考写真(1), (2)】
平成 20 年(2008) 1 月 9 日(水)	Central Chidlom, Bangkok, Thailand
平成 20 年(2008) 1 月 10 日(木)	Central Ladproa, Bangkok, Thailand 【参考写真(3)】
平成 20 年(2008) 1 月 11 日(金)	Emporium Department Store, Bangkok, Thailand
平成 20 年(2008) 1 月 11 日(金)	Central Rama II, Bangkok, Thailand 【参考写真(4)】
平成 20 年(2008) 1 月 12 日(土)	Emporium Department Store, Bangkok, Thailand 【参考写真(5)】
平成 20 年(2008) 1 月 13 日(日)	Emporium Department Store, Bangkok, Thailand
平成 22 年(2010) 8 月 9 日(月)	Central Chidlom, Bangkok, Thailand 【参考写真(6)】
平成 22 年(2010) 8 月 10 日(火)	National Science Museum, Bangkok, Thailand 【参考写真(7)】

社会貢献

Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2

平成 20 年(2008) 2 月 1 日(金) -2 月 25 日(月)	渋谷パルコ
平成 20 年(2008) 3 月 1 日(土) -3 月 24 日(月)	名古屋パルコ
平成 20 年(2008) 3 月 29 日(土) -4 月 20 日(日)	福岡 天神イムズ
平成 20 年(2008) 4 月 25 日(金) -5 月 12 日(月)	静岡パルコ
平成 20 年(2008) 8 月 11 日(月) -8 月 31 日(日)	大阪 堂島リバーフォーラム
平成 20 年(2008) 10 月 24 日(金) -11 月 18 日(火)	仙台パルコ

世界遺産に関するチャリティーイベント用作品提供
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)

レゴタワー世界記録挑戦プロジェクト
平成 21 年(2009) 3 月 31 日(火)-4 月 3 日(金) 那須ハイランドパーク
子どもの権利保護に関するチャリティーイベント用作品制作

受賞

1. 2010 MOC of the Year (MOCpages.com) [2010 年 7 月 2 日受賞]【参考写真(8)】
(MOC of the Year とは、その年に発表された個人制作レゴ作品の中で、最も優れた作品に与えられる賞。世界中のレゴファンによって選出される。)
2. 第 83 回五月祭 MF Awards「学問・展示・実演部門」2 位 [2010 年 5 月 30 日受賞]
(東大レゴ部として)
3. 第 82 回五月祭 MF Awards「学問・展示・実演部門」2 位 [2009 年 5 月 31 日受賞]
(東大レゴ部として)
4. Go Miniman Go Video Contest (gizmodo.com) Third Place [2008 年 12 月 29 日受賞]
5. 第 81 回五月祭 MF Awards「学問・展示・実演部門」3 位 [2008 年 5 月 25 日受賞]
(東大レゴ部として)
6. 第 80 回五月祭 MF Awards「文化部門」1 位 [2007 年 5 月 27 日受賞]
(東大レゴ部として)
7. レゴブロック作品コンテスト 優秀賞 (キディランド原宿) [2006 年 9 月 1 日受賞]
8. 第 1 回レゴブロック作品コンテスト (05block.com)
審査員特別賞, 05block.com 賞 [2005 年 6 月 21 日受賞]
9. 平成 22 年度第 1 回学生表彰 東京大学総長賞 [2010 年 10 月 19 日受賞]
「レゴブロックを素材とした作品制作や関連する課外活動における社会貢献」

テレビ出演

1. テレビ東京 TV チャンピオン レゴブロック王選手権
平成 17 年(2005) 11 月 17 日(木) 19:30-21:00 放送
(選手として参加 決勝戦進出)
2. 日本テレビ Oha!4 NEWS LIVE
平成 19 年(2007) 7 月 27 日(金) 4:00-5:20 放送
(レゴ活動の記事紹介)

3. テレビ東京 TV チャンピオン レゴブロック王選手権
平成 20 年(2008) 4 月 17 日(木) 19:57-21:00 放送
(選手として参加)
4. フジテレビ めざましテレビ
平成 21 年(2009) 3 月 31 日(火) 5:55-8:00 放送
(国内で評判となった自作レゴ作品について紹介)
(年間平均視聴率(2009) 10.4% ビデオリサーチ社調べ)
5. テレビ東京 レゴブロックで世界記録にチャレンジ!
平成 21 年(2009) 4 月 29 日(水) 8:00-8:55 放送
(レゴ高さ世界記録更新 29.70m アート部分および頂上オブジェ制作担当【参考写真(9)】。
「レゴブロックで作る世界一高い塔」としてギネス世界記録に登録された)
6. NHK 総合 特ダネ! 投稿 DO 画
平成 21 年(2009) 4 月 19 日(日) 22:50-23:00 放送
(国内外で評判となった自作レゴ作品について紹介)
7. NHK 総合 おはよう日本 世界が注目! ネット動画
平成 21 年(2009) 7 月 6 日(月) 4:30-8:00 放送
(国内外で評判となった自作レゴ作品について紹介)
(番組平均世帯視聴率(2009) 7 月 6 日 12.0% (関東地区) ビデオリサーチ調べ)
8. 読売テレビ 大阪ほんわかテレビ
平成 21 年(2009) 7 月 20 日(月) 22:30-23:30 放送
(「驚きのスペシャリスト達!」と題して自作レゴ作品や活動について紹介)
(年間平均視聴率(2009) 14% (関西地区) ビデオリサーチ社調べ)
9. 日本テレビ サプライズ 心に響く 4 コマ劇場
平成 21 年(2009) 10 月 19 日(月) 19:00-19:56 放送
(国内で評判となった自作レゴ作品について紹介)
10. テレビ東京 TV チャンピオン特別版 レゴブロック王選手権
平成 22 年(2010) 4 月 15 日(木) 19:58-21:48 放送
(選手として参加 決勝戦進出)
11. 日本テレビ おは選挙 NEWS LIVE
平成 22 年(2010) 7 月 12 日(月) 2:00-5:20 放送
(参議院議員選挙速報番組にて議席獲得を示す模型【参考写真(10)】をレゴで制作)

雑誌や機関紙等での紹介 (別紙(1)参照)

1. A model WORLD. (2008, January 12). *The Nation*, p.3D.
2. Way of Life. (2008, February). *GM Magazine*, pp.198-202.
3. 中学受験進学レーダー, 2007 年 9 月号(第 19 巻 9 号), (2007) pp.70-71.
好きやネン関西私学 SPECIAL 灘校 土曜講座「レゴブロックによる立体表現」レポート

4. 週刊新潮, 2009年5月28日号(第54巻20号), (2009) pp.159-161.
カラーグラビア レゴで、つくれます
5. Nathan Bryan (2009, September). Project Yamato: by Junpei Mitsui. *Brick Journal Issue 7, Volume 2*, pp.32-35.
6. ラジオライフ, 2009年11月号(第30巻11号), (2009) pp.156-159.
北尾トロの大陸超越 第17回 レゴマニア 灘高生に講義する天才ビルダー
7. Grandes creadores del mundo: Jumpei Mitsui. (2010, September). *Hispabrick Magazine Volume 2 #2*, pp.54-57.

作品展示

1. 「ゼブラシ」【参考写真(11)】
平成17年(2005)11月
銀座博品館
2. 「日本デンマーク友好」【参考写真(12)】
平成17年(2005)12月
デンマーク LEGOLAND
3. 「パンダ」【参考写真(13)】
平成18年(2006)9月10日(日)-9月30日(土)
表参道 KIDDYLAND
4. 「ゼブラシ」「パンダ」等【参考写真(14)】
平成19年(2007)1月4日(木)-1月6日(土)
タイ王国 エンポリウムデパート正面入口
5. 「安田講堂」等【参考写真(15)】
平成19年(2007)5月26日(土)-27日(日)
東京大学 第80回五月祭
6. 「タイのお寺」【参考写真(16)】
平成20年(2008)1月9日(水)-1月14日(月)
タイ王国 エンポリウムデパート中央ホール
7. 「未来に残したい、私のたからもの」【参考写真(17)】
平成20年(2008)2月1日(金)-2月25日(月)
渋谷パルコ Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)
8. 「未来に残したい、私のたからもの」
平成20年(2008)3月1日(土)-3月24日(月)
名古屋パルコ Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)

9. 「未来に残したい、私のたからもの」
平成 20 年(2008) 3 月 29 日(土)-4 月 20 日(日)
福岡 天神イムズ Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)
10. 「未来に残したい、私のたからもの」
平成 20 年(2008) 4 月 25 日(金)-5 月 12 日(月)
静岡パルコ Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)
11. 「赤門」等【参考写真(18)】
平成 20 年(2008) 5 月 24 日(土)-25 日(日)
東京大学 第 81 回五月祭
12. 「未来に残したい、私のたからもの」
平成 20 年(2008) 8 月 11 日(月)-8 月 31 日(日)
大阪 堂島リバーフォーラム Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)
13. 「大聖堂」【参考写真(19)】
平成 20 年(2008) 9 月-平成 22 年(2010)7 月 9 日(金)
那須ハイランドパーク レゴスタジアム
14. 「未来に残したい、私のたからもの」
平成 20 年(2008) 10 月 24 日(金)-11 月 18 日(火)
仙台パルコ Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2
(共同制作者: リリー・フランキー, 土屋アンナ, 小林互)
15. 「Brick Bank」等【参考写真(20)】
平成 21 年(2009) 5 月 30 日(土)-31 日(日)
東京大学 第 82 回五月祭
16. 「オードリー春日」【参考写真(21)】
平成 22 年(2010) 4 月 29 日(木)-5 月 23 日(日)
トイザラス・ベビーザラス新浦安店
17. 「ペンギンたちの春休み」【参考写真(22)】
平成 22 年(2010) 4 月 17 日(土)-5 月 7 日(金)
ビックカメラ有楽町店本館 B2F 玩具売場
18. 「未来のバイク便」【参考写真(23)】
平成 22 年(2010) 5 月 2 日(日)-5 月 5 日(水)
ビックカメラ有楽町店本館正面入口
19. 「ホワイトタイガー」等【参考写真(24)】
平成 22 年(2010) 5 月 29 日(土)-30 日(日)
東京大学 第 83 回五月祭

20. 「ホワイトタイガー」【参考写真(25)】

平成 22 年(2010) 8 月 8 日(土)–10 日(日)

Cyber World Tower, Toy & Comic Expo Asia 2010, Bangkok, Thailand

(タイ政府支援イベントにて招待展示・公演)

東大レゴ部としての活動

受賞

第 80 回 五月祭 MF Awards 「文化部門」 1 位

第 81 回 五月祭 MF Awards 「学問・展示・実演部門」 3 位

第 82 回 五月祭 MF Awards 「学問・展示・実演部門」 2 位

第 83 回 五月祭 MF Awards 「学問・展示・実演部門」 2 位

掲載記事 (別紙(2)参照)

1. 平成 19 年(2007) 5 月 15 日(火) 東京大学新聞 6 面
「Academic - 注目企画紹介 レゴ部 五月祭展示 大迫力の安田講堂レゴ」
(東大レゴ部五月祭展示に関する紹介)
2. 平成 19 年(2007) 7 月 10 日(火) 淡青(東京大学広報誌) 20 号
「東大レゴ部、『レゴで作った安田講堂』で五月祭人気投票文化部門第 1 位に輝く」
(東大レゴ部の活動に関する紹介)
3. 平成 19 年(2007) 7 月 27 日(土) 朝日新聞 朝刊 35 面
「“レゴ”で安田講堂を再現」
(東大レゴ部五月祭展示に関する紹介)
4. 平成 20 年(2008) 5 月 20 日(火) 東京大学新聞 4 面
「お薦め企画紹介」
(東大レゴ部五月祭展示に関する紹介)
5. 平成 20 年(2008) 6 月 20 日(金) U7(学生会会報) 20 巻 pp.24.
「clubs & circles」
(東大レゴ部の活動に関する紹介)
6. 平成 20 年(2008) 7 月 建築ジャーナル 7 月号 No.1138 pp.5.
「赤門、安田講堂から夏目漱石まで?! 『東大レゴ部』の生み出す脅威の造形」
(東大レゴ部の活動に関する紹介)
7. 平成 21 年(2009) 5 月 30 日(土) 産経新聞 ?面
「チャイム」
(東大レゴ部五月祭展示に関する紹介)

8. 平成 21 年(2009) 11 月 10 日(火) 東京大学新聞 3 面
「東大レゴ部展示 ミニチュア駒場」
(東大レゴ部駒場祭展示に関する紹介)
9. 平成 21 年(2009) 11 月 21 日(日) 読賣新聞 夕刊 17 面
「話の巷」
(東大レゴ部駒場祭展示に関する紹介)
10. 平成 21 年(2009) 12 月 1 日(火) 東京大学新聞 2 面
「写真で振り返る駒場祭」
(東大レゴ部駒場祭展示に関する紹介)
11. 平成 21 年(2009) 5 月 31 日(日) SANKEI EXPRESS 日刊 917 号 32 面
「オバマ語らずとも?」
(東大レゴ部五月祭展示に関する紹介)

作品展示

1. 「安田講堂」
平成 19 年(2007) 5 月 26 日(土)-27 日(日)
東京大学 第 80 回五月祭
2. 「安田講堂」
平成 19 年(2007) 7 月 24 日(火)-8 月 5 日(日)
日本橋三越本店 こども博
3. 「安田講堂」
平成 19 年(2007) 11 月 10 日(土)
第 6 回東京大学ホームカミングデイ
4. 「赤門」等
平成 20 年(2008) 5 月 24 日(土)-25 日(日)
東京大学 第 81 回五月祭
5. 「赤門」等
平成 20 年(2008) 11 月 15 日(土)
第 7 回東京大学ホームカミングデイ
6. 「ユータスくん」等
平成 21 年(2009) 5 月 30 日(土)-31 日(日)
東京大学 第 82 回五月祭
7. 「安田講堂」等
平成 21 年(2009) 11 月 14 日(土)
第 8 回東京大学ホームカミングデイ

8. 「駒場立体地図」
平成 21 年(2009) 11 月 21 日(日)-23 日(火)
東京大学 第 61 回駒場祭

9. 「東京都庁」等
平成 22 年(2010) 5 月 29 日(土)-30 日(日)
東京大学 第 83 回五月祭

10. 「東京都庁」等
平成 22 年(2010) 6 月 19 日(土)-9 月 5 日(日)
江戸東京たてももの園 特別展 けんちくのしくみ

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(1)

平成 19 年(2007) 1 月 4 日(木)-1 月 9 日(火)
Emporium Department Store, Bangkok, Thailand



参考写真(2)

平成 19 年(2007) 1 月 4 日(木)-1 月 9 日(火)
Emporium Department Store, Bangkok, Thailand



参考写真(3)

平成 20 年(2008) 1 月 10 日(木)
Central Ladproa, Bangkok, Thailand



参考写真(4)

平成 20 年(2008) 1 月 11 日(金)
Central Rama II, Bangkok, Thailand



参考写真(5)

平成 20 年(2008) 1 月 12 日(土)
Emporium Department Store, Bangkok, Thailand



参考写真(6)

平成 22 年(2010) 8 月 9 日(月)
Central Chidlom, Bangkok, Thailand

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(7)

平成 22 年(2010) 8 月 10 日(火)

National Science Museum, Bangkok, Thailand



参考写真(8)

2010 MOC of the Year (MOCpages.com) [2010 年 7 月 2 日受賞]

MOC of the Year とは、その年に発表された個人制作レゴ作品の中で、最も優れた作品に与えられる賞。
世界中のレゴファンによって選出される。

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(9)

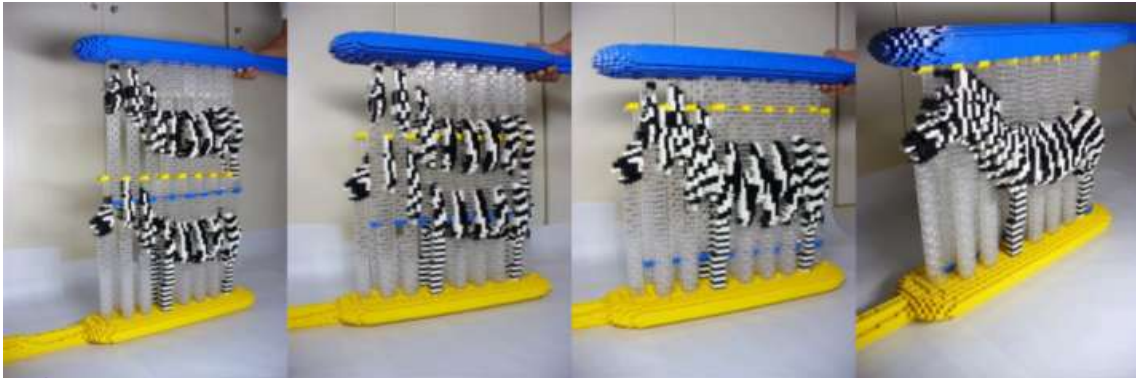
テレビ東京 レゴブロックで世界記録にチャレンジ！
平成 21 年(2009) 4 月 29 日(水) 8:00-8:55 放送
(レゴ高さ世界記録更新 29.70m アート部分および頂上オブジェ制作担当。
「レゴブロックで作る 世界一高い塔」としてギネス世界記録に登録された)



参考写真(10)

日本テレビ おは選挙 NEWS LIVE
平成 22 年(2010) 7 月 12 日(月) 2:00-5:20 放送
(参議院議員選挙速報番組にて議席獲得を示す模型をレゴで制作)

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(11)

「ゼブラシ」
平成 17 年(2005)11 月
銀座博品館



参考写真(12)

「日本デンマーク友好」
平成 17 年(2005)12 月
デンマーク LEGOLAND



参考写真(13)

「パンダ」
平成 18 年(2006)9 月 10 日(日)-9 月 30 日(土)
表参道 KIDDYLAND



参考写真(14)

「ゼブラシ」「パンダ」等
平成 19 年(2007)1 月 4 日(木)-1 月 6 日(土)
タイ王国 エンポリアムデパート正面入口

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(15)

「安田講堂」

平成 19 年(2007)5 月 26 日(土)-27 日(日)

東京大学 第 80 回五月祭

東京大学創立 130 周年記念事業「知のプロムナード」として認定され、現在は東京大学内に常設展示されている。



参考写真(16)

「タイのお寺」

平成 20 年(2008)1 月 9 日(水)-1 月 14 日(月)

タイ王国 エンボリアムデパート中央ホール



参考写真(17)

「未来に残したい、私のたからもの」

平成 20 年(2008)2 月 1 日(金)-11 月 18 日(火)

Piece of Peace レゴで作った世界遺産展 Part-2

(共同制作者: リリー・フランキー、

土屋アンナ、小林互)

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(18)

「赤門」

平成 20 年(2008) 5 月 24 日(土)-25 日(日)
東京大学 第 81 回五月祭



参考写真(19)

「大聖堂」

平成 20 年(2008) 9 月-平成 22 年(2010)7 月 9 日(金)
那須ハイランドパーク レゴスタジアム



参考写真(20)

「Brick Bank」

平成 21 年(2009) 5 月 30 日(土)-31 日(日)
東京大学 第 82 回五月祭



参考写真(21)

「オードリー春日」

平成 22 年(2010) 4 月 29 日(木)-5 月 23 日(日)
トイザらス・ベビーザラス新浦安店

③ 三井 淳平 の代表作品および主な活動



参考写真(22)

「ペンギンたちの春休み」

平成 22 年(2010)4 月 17 日(土)-5 月 7 日(金)
ビックカメラ有楽町店本館 B2F 玩具売場



参考写真(23)

「未来のバイク便」

平成 22 年(2010)5 月 2 日(日)-5 月 5 日(水)
ビックカメラ有楽町店本館正面入口



参考写真(24)

「ホワイトタイガー」

平成 22 年(2010)5 月 29 日(土)-30 日(日)
東京大学 第 83 回五月祭



参考写真(25)

「ホワイトタイガー」

平成 22 年(2010)8 月 8 日(土)-10 日(日)
Cyber World Tower, Toy & Comic Expo Asia 2010,
Bangkok, Thailand
(タイ政府支援イベントにて招待展示・公演)



■ *Kupluthai Pungkanon*
The Nation

JUMPEI MITSUI, a materials chemistry student at Tokyo University, likens the humble Lego brick to an atom, explaining how each piece can be connected until it form a whole.

The 20-year-old Mitsui, who was recently crowned TV's "Lego King Champion" for the second time, has competed in Japan and Denmark. He's currently in Bangkok to showcase his models of the Emerald Temple and the Eiffel Tower at the Emporium shopping complex where he's also hosting workshops to keep the kids amused on Children's Day.

Mitsui reveals that he fell in love with Lego at the tender age of three, when his parents bought him a set of the starter blocks as a present. He played with his elder brother, but unlike other kids, he didn't lose interest when he reached junior high school.

"The bricks always surprise me. When I start putting them together, I often don't have a specific object in mind. But every time, it turns out to be something amazingly creative," he says.

Because Lego bricks can be used to build anything, Mitsui soon started thinking on a grand scale. At 14, he was delving into books on architecture and engineering to better understand the infrastructure requirements for his models. At 17, he constructed the popular manga cat Doreamon to actual cat size, using 50,000 Lego bricks. The model weighed in at a hefty 40 kilograms.

For the "Lego and Emporium Kids Wonders" event, Mitsui spent about two months constructing the "Emerald Buddha Temple" using 40,000 pieces of Lego bricks. "I visited Wat Phra Kaew on my first visit to Thailand a year ago. As soon as I returned to Japan, I started collecting information and photos. I thought about its structure and how to build it. Then I made a sketch."

First he constructed the roof, then the windows. The pinnacle of the Viharn was the most complicated, he says.

Mitsui is of the opinion that most children love playing with Lego because it's fun and creative. "The results are visible, making youngsters proud of themselves," he says. "Besides, Lego teaches children concentration and patience. There's no age limit."

At home, he's working on his ongoing project, a model of the Japanese battleship Yamamoto. "It will be my biggest Lego model to date, using 200,000 bricks and measuring seven metres in length. It should be finished in August," he says proudly.

Mitsui also credits Lego with inspiring him to study materials chemistry. "I just want to make better structural materials that will enhance the quality of construction," he grins.



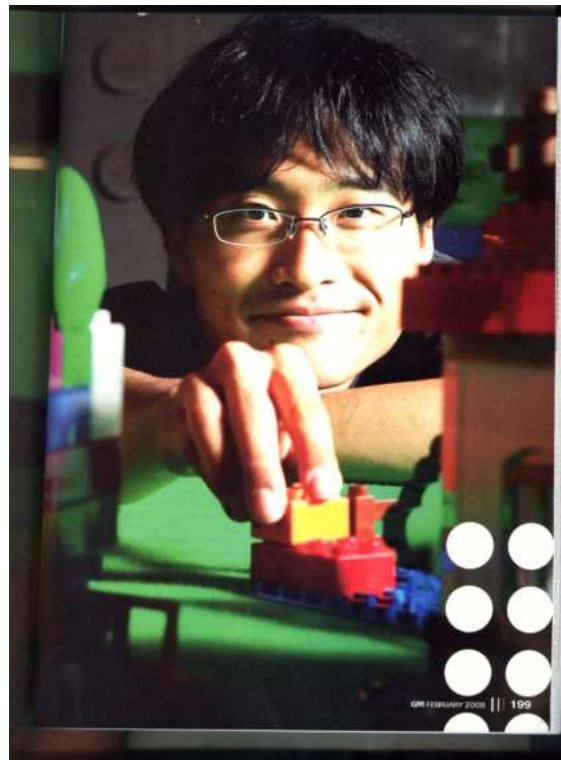
1100 Grams Mitsui poses with the Emerald Buddha Temple that he made from 40,000 Bricks.



Minimise this!

Lego workshops by Mitsui are being held today and tomorrow from 2 to 5pm and on Monday from 5 to 6pm.
Tuesday through January 20, from 1pm to 5pm, the workshops will be facilitated by a group of Thai model builders.

1. A model WORLD. (2008, January 12). *The Nation*, p.3D.



2. Way of Life. (2008, February). GM Magazine, pp.198-202.



3. 中学受験進学リーダー, 2007年9月号(第19巻9号), (2007) pp.70-71.
 好きやネン関西私学 SPECIAL 灘校土曜講座「レゴブロックによる立体表現」レポート



ドラスモンの内装、曲線をどう船んでいかがわかる



●レゴの人形を基準に縮尺を計算、主砲塔はモーター駆動 ●色も形も変えず、接着剤も使わないのがこだわり



作りたいものが無い(へ)と悩む。井さんの作品には、多岐にわたるパーツを使った、独自の造りかたが、無難に思える。そして、この作品はモノ作りの仕事に携わりたいという彼の思いの現れ、まさに叩きつけて聞かされているかのようだ。



4. 週刊新潮, 2009年5月28日号(第54巻20号), (2009) pp.159-161. カラーグラビア レゴで、つくれます



Building Project Yamato: by Junpei Mitsui



Article and Photography
by Nathan Bryan,
BrickZen.com

Walking into the event there was the battleship in all of its glory. This 1:40 scale model of the battleship Yamato was started in 2009, and built over the next six years and four months using over 200,000 bricks. The completed length is 6.5 meters (21.3 feet) long and over a meter tall at its widest point.

The original Yamato was built from 1907 to 1940 and launched late in 1941. It displaced more than 72,000 tons and was armed with the largest caliber naval artillery ever fitted in a battleship, six 18.1-inch (46 cm) 45 Type 94 turret guns. Although it was sunk in April 1945, the ship still generates a great deal of interest in Japan. Numerous books that have been published, several museums have been built, and in 2009, there was even a film produced to tell the Yamato's story.

The builder of the LEGO Battleship Yamato is Junpei Mitsui (坂本隼平), a student at Tokyo University studying to become a mechanical engineer, but has been building since childhood. In high school, he started a LEGO education class. At Tokyo University he also started a LEGO club.

Because of his building skill, he was a semi-finalist and went to Denmark on the Japanese TV show "TV Champion." Besides building with LEGO bricks, he enjoys working with computers and shooting short animations (with minifigs of course). Junpei has built many large scale MOCs including many famous Japanese architectural landmarks and a life-size Donatello (a famous Japanese Anime character).

Junpei and the Yamato

First Inspiration

When Junpei was in elementary school he saw a picture of the Yamato in an encyclopedia and knew immediately that someday he was going to create a MOC of it with LEGO bricks.

He started off by creating one of the smaller gun batteries, a 12.7cm, 40 caliber gun turret. His thinking was that if he could create an accurate replica of one of the gun batteries, then he would be able to build the whole ship.

Next he needed a long series of trial and error builds to find the best way to create realistic lines for the bow and sides using SNOT (Studs Not On Top) techniques and plate elements. Getting realistic ship lines was one of the most difficult and challenging aspects of the project.

He then collected books, plastic models, ship plans, visual museums and gathered as much information as he could so that he could create a MOC that was true to the original ship. One of the problems that he encountered was that many models and even drawings to books often had what that particular artist thought were correct aspects of the ship, or had small details left out. In wanting the movie about the Yamato, Junpei even came to write how they created or changed certain parts of the ship for visual effects or to make the story run smoother.

The MOC was built in Junpei's "LEGO Studio", an apartment in Akashi city where his parents are. He would take one color with him on a time up to Tokyo to work on sections, and then bring the finished piece back and add them to the MOC.

To determine what the finished size of the battleship needed to be, he calculated by using the size of a "standard" Japanese person (he was in 1940) and then calculated the length, breadth, height and other aspects of the vessel based on this standard. The MOC uses mostly normal bricks for the interior structure and plates for the exterior areas. There are various special parts that he has used for the details. The meticulous attention to detail is noticeable, from the Japanese flag, made with 1x2 plates and 1x1 round plates to the airplanes on the deck. He even created the two smaller vessels that the



Junpei's Donatello

Gun battery created for the "TV Champion" show

The gun battery that started it all.



One of the main gun turrets.



One of the main gun turrets.

33



The Japanese flag created in LEGO plates

Yamato would display from the back of the ship. From the ship how to its stem, the various gun batteries, radar, antennas, arches, cranes, aircraft display (most areas, every external detail was not needed to match the original). He has over 3,000 minifigs on board the model, just as many as were on the original crew. The current "crew" that he has the MOC set up for is some from the Yamato movie where all of the crew members are on deck for a speech by the ship's admiral.

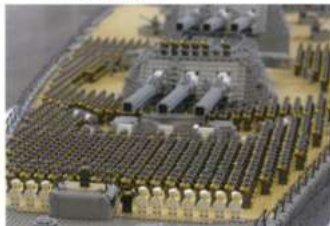
Collecting all of the bricks, specialized pieces and minifigs was a process that took many years and many Bricklink orders.

Currently the front main gun is functional and can rotate to point left and right. It uses two large Flightline Droid (9-hole) (4881) supported by LEGO motor built used in full bearings. Gears are used to drive the great speed down to a speed that Junpei calculated to be as close to the actual speed of the original guns. It is run with one standard LEGO 9V Micro-Motor (part #714201). Eventually he would like to motorize all three of the main guns and even motorize each individual turret nose up and down as well.

The 6.5 meter length of the vessel is broken up into 13 sections of about 50 cm (20 in) each so that it can fit out of the door of his building rooms and be transported.

The model had been on display in a large gathering space in the same building that it was built. After looking over the MOC and talking with Junpei about it, three of us broke down the MOC and moved it piece by piece back to his building rooms.

The official public viewing for the model was put up on his home page on April 7th 2009. Junpei is not sure when the MOC might leave his room where it might eventually end up. Until then he hopes to continue to modify and work on the Yamato (even trying some realistic interior work). It is sure to bring wonder and amazement to everyone. AFOL, or not, who sees it!



The creation of the Yamato.



A fighter ready for launch.



Another look of the finished ship

Home Page Links

Mitsui Junpei's Home Page:
http://www.gocreation.jp/jun_jmck/
Yamato Page:
http://www.gocreation.jp/jun_jmck/projects/yamato.html
Tokyo University LEGO Club Page:
http://lhaq.gsu.ne.jp/yamato_jmck.html

Video:

Yamato Walk Around:
<http://www.yamato.com/watch?v=2b6d8f6gfo>
Yamato Gun Turret:
<http://www.yamato.com/watch?v=vgL38TDFV9hd>



Junpei makes one of the sections of the ship for attachment.

33

5. Nathan Bryan (2009, September). Project Yamato: by Junpei Mitsui. *Brick Journal Issue 7, Volume 2*, pp.32-35.

北尾トロの大陸超越

大超越

趣味をとことん極めて一般レベルを超越してしまった“趣味の鉄人”を紹介する本コーナー。世間的な名誉や栄光よりも、趣味を大切にしている高邁な鉄人たちの生き様をノンフィクションライター・北尾トロ氏が描く。第17回目は、レゴであらゆる立体物を作り上げてしまう天才ビルダー・三井淳平さんを紹介する。

文/北尾トロ

第17回 レゴマニア 灘高生に講義する天才ビルダー

鉄金入りのマニアになるにはどうしても半年かかる。何か集めるにしても作るにしても、失敗を含めた経費の豊かさが深みを与え、物事を進めていく過程で風流のようなものができるのだと思う。その好曲余所こマニア取材の醍醐味ともいえる。しかし、中には例外もある。ごく稀に、一直線にそのジャンルの頂点に迫り進む。天才タイプのマニアがいるのである。レゴ界の若きスター、三井淳平さん(22歳)もその1人だ。

レゴで安田講堂…東大が永久保存?

東大に入って、レゴ部を作ったんです。レゴ部といっても部室があるわけじゃないし、

初め部員6名くらいのサークルだったんですけどね。活動内容でずか、まあそれぞれが製作中のものについてしゃべったりとか。そういう感じですかねえ。基本的にはワイワイやっていますが、作業が始まると静かになります。女子? やっと1人入りました(笑)。

それでも、年に1回の大学祭での展示はレゴ部の存在をアピールできるの大きな目標です。これまで評判になったのは、2年生の時に発表した安田講堂の展示ですね。広めの部屋に住んでいる部員のところに来て、連日連夜、コツコツと。作業に集中したと人気があって静かなんです。大学生5人がレゴをいじりながら昼と作業する



現在東大4年生の三井淳平さん。自身のWebサイト <http://www.grooking.jp/kuu.html> や東大レゴ部のWeb <http://lego.kyushu-u.ac.jp/lego/> でこれまでに作った作品の数々が見られる。

レゴ部の初作品は安田講堂



レゴ部が制作初めての大学祭で再現した安田講堂。大学に好評を得た。現在は本館キャンパス1階の講義のミニコンピュータセンター内に展示されている。

北尾トロの超越大陸

になってしまうんです。最近では設計図の代わりにイラストを描いているんですが、絵で描ければレゴで作れるんですよ。その頃にWebサイトを作った。作品を並べたりしていました。自分が持っていたように、Webサイトを見てもらえるんじゃないかと思ったりもした。そうしたら思わぬところが連絡がありました。テレビ東京の「TVチャンピオン」という番組でした。この番組ではレゴのチャンピオンを何名かを数回やって、僕も見てはいたんですが、ビルダー(レゴが上手い人)はさすがだなと思って、自分でもできるかもしれないと感じたので出てきました。レゴには僕のような基本ブロック派からロボ派まで多くのジャンルがあるので、ジャンルが違っても人の作品にはおもしろい刺激をくれるものなんです。だから対抗心を燃やさず感じないですよ。

高校生というのが珍しかったので、熱心に通って頂きまして、出場する気になりました。この

時は日本選手をやって、そこで勝ち残った人と前年チャンピオンが、レゴ村のあるデンマークへ行って決戦戦を行うという企画だったんです。国内予選の決勝戦で作ったのは、シマウマと歯ブラシを組み合わせた、だまし絵のような作品です。事前に構想を練ることはありますが、本番では時間制限があるため緊張しましたね。その割には気に入った作品ができました。

それでも、運よく勝ち残りましてデンマークまで行くことになりました。向こうではデンマークビルダー2人と前チャンピオンと僕の人で勝負したんですけど、審査員がデンマークの方々が上でした。でも、いい記念になったし、作ったレゴを早速届けてもらったので満足です。はい、僕は基本ブロック派です。そうしないといけないから(笑)。

レゴ製の戦艦大和が実家を占拠している

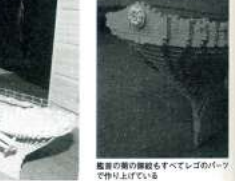
戦艦大和を作ったと思ったのは中学3年生の時。ミリタリー関係には興味があって、中でも船、どうせ作るなら戦艦大和かしたい。単純にカッコいいという僕れがあったんですよ。

完成が2009年なのだと7年かかりました。全長6.0mの戦艦大和は、基本ブロックどきどきで忠実なものを作れるかを探るための、いわばトライですね。



戦艦大和の完成品をすべてレゴのパーツで作っている。

実家を占拠する戦艦大和!



戦艦大和の完成品をすべてレゴのパーツで作っている。

北尾トロの超越大陸



「トシンジヤウ」も日本寺廟の造像で作った作品。2年の歳月を費やして完成させた。2年の歳月を費やして完成させた。



カラーで仕上げた美しい造像は2歳のころに作った。2歳のころに作った。



「トシンジヤウ」で2年かけて作った。2年の歳月を費やして完成させた。

取材については快調してくれただけで、自分はそのジャンルに秀でているだけだ。三井さんは謙虚な姿勢を崩さない。口調も淡々として自慢めいたところは皆無だ。だが、ぼくは知っている。優れたマニアは、上には上がいることを自覚している。本物はどきどきと置いておく。東大レゴ部が製作したレゴの安田講堂は、本物以上に風格に溢れ、どう見てもレゴでできているとは信じられない完成度だった。では、ここに至る道程はどんなものだったのか。解読が解けた三井さんに、レゴ好きになったきっかけを尋ねてみた。

「TVチャンピオン」に 初試しのつもりで出演

子供の頃、レゴが家にあって、結構好きだったんです。けど中学時代は野球をしていて、あまりレゴはしてなかった。でもレゴを完全に忘れた時期はないです。熱が入り始めたのは3年の秋に野球を辞めてからです。急に暇になって、家にあったレゴが目にとまりました。父がペーパークラフト好きで、兄がレゴ好きだった影響で、テレビゲームより何か作る方に興味

があったんだと思います。その頃、ちょうどネットが普及し始めた頃で、海外からパーツを買ったのが大きかったですね。レゴはもともと買うと高いし、国内で流通しているパーツは色もカタチも種類が少ない。世界のレゴファンが余ったパーツを安く売り出しているのを見て、まずはお年玉とかを使って、せっせといろいろなパーツを買い集めていました。そうは

れるようになり、ドクエもんをレゴで作ったりして楽しむように。ええ、1人で使えますね。あと土日とか。それで、高校2年生の時ですか。宇宙戦艦ヤマトを作ったんです。4か月かかりましたけど、基本ブロックだけでは無理な形にすることができました。この宇宙戦艦ヤマトは全長3メートル、基本ブロックだけで4〜5万パーツだったかな。基本ブロックだけで4〜5万パーツを出すと、どうしても大きなもの



高校生の頃に制作した東大最大のレゴ作品「ドクエもん」。内部には電動機のためにモーターとブロックがつけられている。

です。それで、入手しやすい基本ブロックだけを使っている作り始めました。その時から一貫して、僕の作品は基本ブロックでここまで忠実に再現できるかということにこだわってやっています。自分でルールを定めないで、この趣味は果てしなくやってしまおう。高校に入ると、だんだんレゴの面白さに取り憑か

北尾トロの超越大陸



戦艦大和の最終的な艦隊の形状や艦載機もキャッチと再現している。



艦載機ももちろんレゴで作成。もはやあつぱりらしいといえる。



艦隊の作り込みには後がない。他にも艦内に乗るものも作り込まれている。

レゴの人数は4分の1スケールなので、それに合わせてこのサイズになりました。使用するパーツは大体200万パーツ以上です。金銭的に一気にはいけません。お年玉を借って、少しずつ組み立てていきました。資料を見たり、全体像をつかむために10分の1スケールの模型がある興味の「大和ミュージアム」まで何度も足を運んだりもしました。

ここまで大きいと半端な作り込みではちゃちゃに見えてしまうので頑張りました。僕は立体物をパソコンでデザインするのはあまり好きではないので、手書きで図面を作り、目で見て修正しながらカタチを整えるんですけど、だんだん大き過ぎて全

てきたので、厳密にはまだ完成したとはいえないんです(笑)。あと、置き場所も問題です。実家の1番大きな部屋を1つ占拠していますから、父が手作り大好き人間でなかったら、たぶん許されなかったでしょう。レゴは作らないけど何となく分かるみたいですね。息子ややってることを。



艦隊の作り込みには後がない。他にも艦内に乗るものも作り込まれている。



艦隊の作り込みには後がない。他にも艦内に乗るものも作り込まれている。

何と? 砲塔も動く
動く砲塔はモーターに回らせたレゴパーツで実現した。砲塔も動く。動く砲塔はモーターに回らせたレゴパーツで実現した。

動く砲塔はモーターに回らせたレゴパーツで実現した。

6. ラジオライフ, 2009年11月号(第30巻11号), (2009) pp.156-159. 北尾トロの大陸超越 第17回 レゴマニア 灘高生に講義する天才ビルダー



**Grandes creadores del mundo:
Jumpei Mitsui**

Nos vamos, nada más y nada menos, a Japón para traer a un creador que no se asusta de los proyectos faraónicos. Muchos le conoceréis por su reproducción del Yamato, nosotros os presentamos el resto de su trabajo.

For Hispabrick Magazine
Fotos por Jumpei Mitsui

Hispabrick Magazine: Nombre?
JM: Jumpei Mitsui
HM: ¿Edad?
JM: 23
HM: ¿Nacionalidad?
JM: Japón
HM: ¿Qué haces actualmente?
JM: Soy un estudiante de posgrado de la Universidad de Tsukuba. Me especializo en ingeniería de materiales.
HM: ¿Cuándo empezaste a construir con LEGO?
JM: Vi un vídeo casero en el que pude verme construyendo con LEGO con 4 años de edad. Yo siempre jugaba con mi hermano mayor cuando era un niño.
HM: Tu primer set?
JM: 6285 'Black Seas Barracuda', creo.
HM: ¿Y tu último set?



JM: Ninguna. Me gusta mucho jugar con una pila de ladrillos restringida. También prefiero los ladrillos básicos a piezas más especiales.
HM: ¿Cuántas horas dedicas a construir con LEGO?
JM: Aunque no tengo suficiente tiempo para construir, porque estoy ocupado en mis estudios estos días, a veces saco algo de tiempo reduciendo el tiempo de sueño. Hace poco construí durante 30 horas seguidas un trabajo para un programa de TV. Me olvidé de dormir en ese momento.
HM: ¿Qué piensas tu familia / amigos acerca de esta afición?
JM: Aunque mis padres siempre afirman que no hay más espacio para almacenar piezas de lego, están orgullosos de mi actividad. Y mis amigos desean ver mis nuevos trabajos.
HM: ¿Dibujas o pre-diseñas antes de empezar a construir?
JM: Yo siempre dibujo un par de bocetos para averiguar la forma exacta de un objeto, de vista frontal y lateral. Eso es suficiente para un modelo normal. Cuando hago uno muy grande, dibujo algunos bocetos más para los detalles.
HM: ¿Cuánto tiempo le llevas a obtener de la idea hasta el modelo terminado?

JM: 7695 'Army Men on patrol' He comprado docenas de años así por las motas. Quiero tomar fotografías de ellas en blanco y negro con mis construcciones de la Segunda Guerra Mundial.
HM: ¿Tu línea oficial favorita?
JM: Creator y Star Wars™. Ambos tienen piezas muy versátiles.
HM: ¿Y tu línea no oficial favorita?
JM: Minifig.
HM: ¿Cuál es su elemento LEGO favorito y por qué?
JM: Me encanta el 'brick 1x1 with headlight' porque es muy útil para hacer los detalles. El punto es que tiene un detalle de 1 / 2 parte.
HM: ¿Qué nueva pieza le gustaría que LEGO produjera?



**JM: Depende de su tamaño. Algunos de ellos sólo me llevan un día desde la idea hasta el modelo terminado si tengo suficientes piezas para completarlo. Por otra parte, mi proyecto más largo me llevó más de 6 años completarlo. Se requiere mucho tiempo para encontrar ladrillos en mi stock y buscar en Bricklink para comprar ladrillos nuevos, y por supuesto, requiere tiempo construir en un proceso de ensayo y error.
HM: El aumento de AFOLs y líneas como Star Wars más nuevas posibilidades no migrados antes por LEGO. ¿Qué piensas acerca de la vieja escuela LEGO y la nueva?**



JM: Me gustan las nuevas líneas lanzadas por LEGO en estos días. Sin embargo, algunas de ellas se sentirán demudadas en las motas y pierden su encanto. Espero que LEGO siga centrándose en los ladrillos de construcción.
HM: Si bien los iconos de la cultura japonesa son ampliamente conocidos y reproducidos por AFOLs en todo el mundo, los constructores japoneses no lo son tanto. Cuéntanos un poco sobre el mundo AFOL en Japón y si crees que está.



HM: Diferencias culturales también influyen en la temática de sus AFOLs.
JM: Los AFOLs japoneses tienden a construir pequeñas obras porque las casas en Japón son realmente más pequeñas que las de otros países. Así que prefieren construir pequeñas obras como robots que aparecen en series de animación japonesa en lugar de construir un templo japonés. Y es una lástima que algunas buenas obras hechas por los constructores japoneses son compartidas sólo en la pequeña comunidad japonesa. Algunos de ellos no utilizan el inglés. Aunque sus obras son realmente buenas, pierden la oportunidad de mostrarlas a la gente en todo el mundo.



HM: Muchos de tus proyectos son grandes construcciones. ¿Cómo mantienes el entusiasmo y la dedicación en proyectos tan largos?
JM: Yo empecé a construir a partir de un detalle, entonces poco a poco se fue haciendo cuando se integra en una construcción de gran envergadura. Así que puedo centrarme en estudiar la manera de hacer un detalle cada vez. Dado que suelo conocer más de dos proyectos, puedo elegir lo que quiero hacer en cada momento. Es por eso que puedo construir muchas grandes construcciones sin tréago.



HM: ¿Cuál fue el origen de un proyecto tan grande como el Yamato? Si es posible, haznos algunas cifras sobre el proyecto. Número de piezas, tiempo empleado... ¿Te has sentido al borde de desear en algún momento mientras estabas construyendo? ¿Cuál fue el punto más difícil de la construcción?
JM: Ha sido mi sueño construir el Yamato con piezas de LEGO, desde que era niño. Más de 200.000 ladrillos usé para este proyecto y fueron necesarios 6 años y 4 meses para terminarlo. Me encanta el Acorazado Yamato, así que suficiente para mí para construir el proyecto durante años. El punto más difícil de la construcción fue la creación de las curvas de la proa. Utilicé miles de pequeños platos como si se tratara de una escultura. Aunque no pude crear nuevas exactas fácilmente, le desarmé tres veces por completo. Finalmente pude conseguir las curvas perfectas en la proa.

7. Grandes creadores del mundo: Jumpei Mitsui. (2010, September). Hispabrick Magazine Volume 2 #2, pp.54-57.



1. 平成 19 年(2007)5 月 15 日(火) 東京大学新聞 6 面
「Academic - 注目企画紹介 レゴ部 5 月祭展示 大迫力の安田講堂レゴ」



2. 平成 19 年(2007)7 月 10 日(火) 淡青(東京大学広報誌) 20 号
「東大レゴ部、『レゴで作った安田講堂』で五月祭人気投票文化部門第 1 位に輝く」



「レゴ」で安田講堂を再現

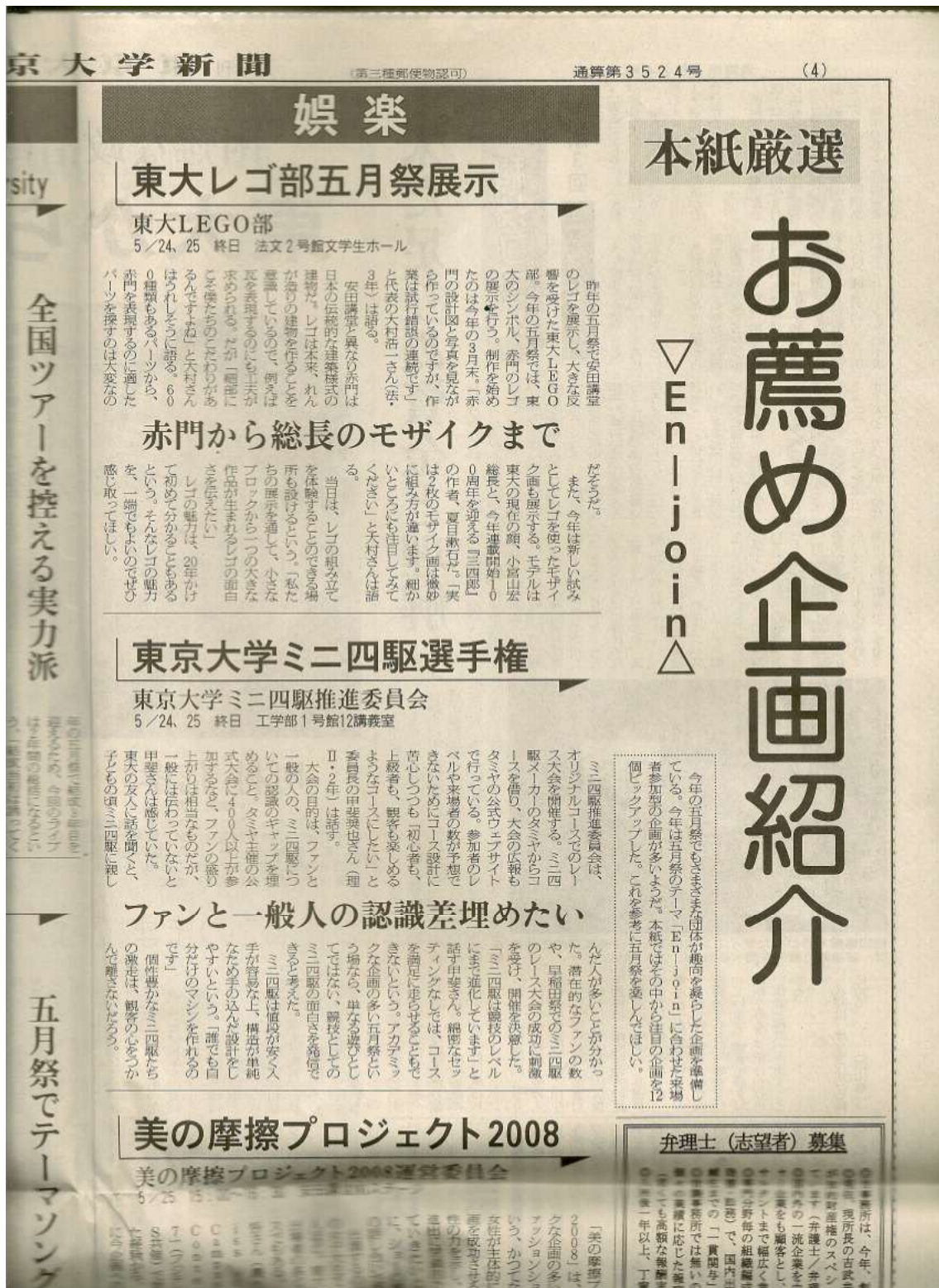
レゴブロック約5万ピースで作られた東京大学のシンボル・安田講堂が8月5日まで、中央区の三越本店で展示されている＝写真。

東大レゴ部の5人が講堂の図面をもとに細部まで再現して作り、今年の学園祭「五月祭」で発表した。大きさは実物の約40分の1。完成まで約3カ月かった。

同部の森田桂一さん(23)は「ブロックの積み方は一見、ワンパターンのようですが、よく見ると小さな変化がある。そこを見てもらいたい」と話している。

学生「細部にこだわり」

3. 平成19年(2007)7月27日(土) 朝日新聞 朝刊 35面
「“レゴ”で安田講堂を再現」



4. 平成 20 年(2008)5 月 20 日(火) 東京大学新聞 4 面
「お薦め企画紹介」

まりこの clubs & circles 探訪記

clubs & circles

2006年にSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のmixiを活用して、「東大生のLEGO好き、集まれ!」と呼びかけて、東京大学LEGO部はスタートした(呼びかけた際の集合場所は、赤門前だったらいい)。まだ創部2年と歴史は浅いのだが、彼らの活躍は輝かしいもの。昨年学園祭・五月祭で展示した“安田講堂”はもちろん(注目のこの作品参照)、今年の“赤門”も、まさに職人技! 今回はそんな彼らの制作現場にお邪魔した。

毎年、東大に関係のあるものを制作してこうというのが彼らのコンセプト。メンバーは大村浩一君(法学部3年)、川辺優喜君(法学部3年)、三井淳平君(工学部3年)の3名。ミニフィグと呼ばれるLEGO人形(人間の基本体型の40分の1)を基本としているので、作品も実際の大きさの40分の1スケールに再現する。全体のバランスと他のパーツとの接続性、実際の建造物との比較などさまざまな要素を考え制作を進めていくのだが、至近距離で作品を見てみると、その緻密な仕事ぶりがよく分かる。といっても本人たちは「柱が太いのがバレル」「この隙間が気になる……」など試行錯誤の繰り返しだ。素人の私にはまったく分からないくらい細かい部分なのだが、「見る人が見れば、手を抜いた部分がある」のだそうだ。「ほとんど趣味でやっていることだから、いつまでこの企画を続けていけるか分からないけど、できれば部員が増えて、学園祭参加が“伝統”になっていけばいいと思います。そうすれば僕たちも大学とずっと繋がっていきける気がする」と話してくれた。彼らの手から、まるで魔法のように創り上げられていく作品群。小さなたくさんブロックを使って、大きなひとつの作品を生み出すその創造力は計り知れないことを実感した。

● 部員数 3名 ● 活動日 メンバーが集まれる日程で調整 ● ホームページ なし(東大レゴ部ブログ更新中http://blog.goo.ne.jp/toudai_legoclub/)
 ● お問い合わせ toudai_legoclub@goo.ne.jp ● お知らせ 新メンバー募集中です。初心者でも構いませんので興味のある人はご連絡を!

★★★
注目の
“この作品”

LEGO部の第1号作品
「是非、見比べてみてください」

この作品は、2007年に完成したもので、約5万ピースのブロックを使い、LEGO部創立メンバー5人が約3ヵ月かけて制作した。昨年の五月祭では来場者の投票により、発表・展示部門で第1位に輝いた作品。五月祭終了後、日本橋三越本店のイベント「2007子供博」に展示依頼をされ、さらに多くの反響を呼んだ。東大では、この作品を学内永久展示に決定し、現在、東大本郷キャンパスのコミュニケーションセンターに置かれている。「この作品は本来、展示が終了したら分解する予定だったんです。でも、完成度は高いし、LEGO部として第1号の作品で思い入れも強かったから、永久展示の話聞いて、とても嬉しかった」と、当時の想いを教えてくれた。校内散策をする際には、“本物の安田講堂”とコミュニケーションセンターにある“LEGO安田講堂”を見比べるのが、新たに始まった東京大学の楽しみ方!









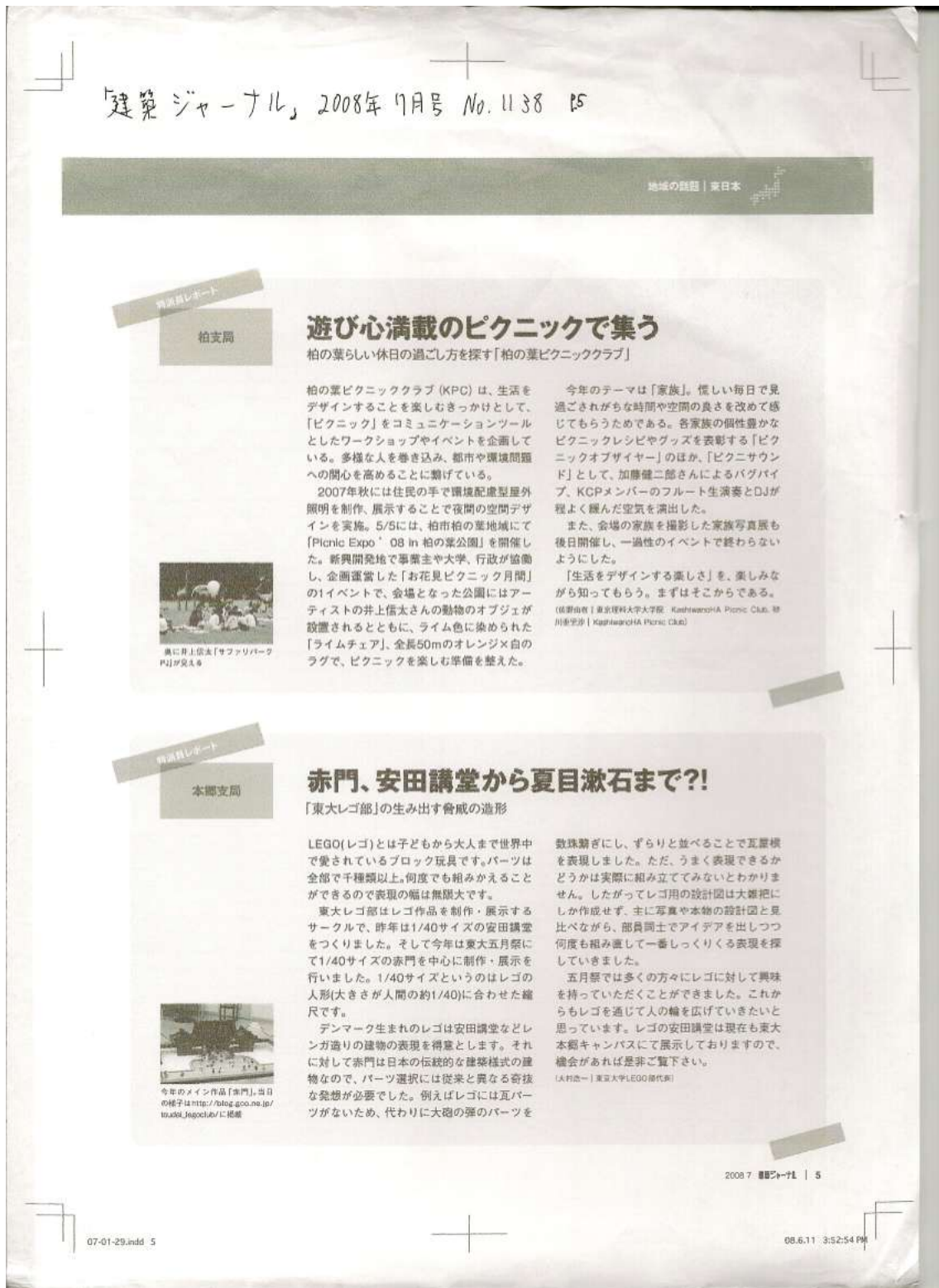

足の踏み場もないほどブロックが部屋中に散らばっている。大学からもらった設計図がちょうど40分の1スケールだった。並べてみるとこんな具合。昨年表彰されたパネル。こんなところにもLEGOブロックが!



File 13 東京大学LEGO部

クラブ & サークル情報募集中!
 【情報連絡先】学士会事務局 企画課(担当:堀田まり子) TEL:03-3292-5955 MAIL:info@gakushikai.or.jp

5. 平成20年(2008)6月20日(金) U7(学士会会報) 20巻 pp.24.
「clubs&circles」



6. 平成20年(2008)7月 建築ジャーナル7月号 No.1138 pp.5.
 「赤門、安田講堂から夏目漱石まで?! 『東大レゴ部』の生み出す脅威の造形」



チャム ◇…高さ1m、重さ10kg超。東京大学のサークルが、レゴブロックを使い、教養学部のマスコット「ユータスくん」の等身大模型を作製した一写真(荻窪佳撮影)。本郷キャンパス(東京都文京区)で開催中の「五月祭」で展示している。31日まで。

◇…使用したパーツは約2万5000個。四角いブロックを少しずつずらして重ねることで丸みを出す「積分モデル」と呼ばれる手法で作製。設計に2カ月、製作に2カ月かけた力作に、訪れた人は感嘆しきりだった。

◇…ただ、この「積分モデル」という手法。東大でもあり、名前から想像するに数式を駆使した緻密(ちみつ)な計算による製法なのかと思いきや、経験とカンが頼りの地道な作業だとか。

7. 平成21年(2009)5月30日(土) 産経新聞 7面 「チャム」



8. 平成21年(2009)11月10日(火) 東京大学新聞 3面 「東大レゴ部展示 ミニチュア駒場」



9. 平成21年(2009)11月21日(日) 読賣新聞 夕刊17面
 「話の巷」



10. 平成21年(2009)12月1日(火) 東京大学新聞 2面
 「写真で振り返る駒場祭」

ブッシュ元大統領が出席したドーブソンでの選挙近くでは、前大統領の似顔絵が描かれたポスターに、多くの靴が投げつけられた。イラク人記者が「靴投げ事件」を起こした昨年未以降、世界各地で同様の行為が相次ぐなど、前大統領の人気は依然、低いままだ—29日、カナダ・トロント（AP）

オバマは語らずとも？

東京大学の本郷キャンパス（東京・文京区）で30、31の2日間にわたって行われている「五月祭」で、玩具「レゴブロック」を使って作成されたオバマ米大統領の肖像画が公開された一写真（荻窪佳撮影）。

学生サークル「東大レゴ部」の手による自慢の作品で、赤やオレンジ、緑など計9色、全5000個のブロックで作られている。カラフルだけでなく、立体感があるのが特徴。東大でもオバマ人気が一層広がることになるのか。

ブッシュ元大統領が出席したドーブソンでの選挙近くでは、前大統領の似顔絵が描かれたポスターに、多くの靴が投げつけられた。イラク人記者が「靴投げ事件」を起こした昨年未以降、世界各地で同様の行為が相次ぐなど、前大統領の人気は依然、低いままだ—29日、カナダ・トロント（AP）





SANKEI EXPRESS
発行所：◎産業経済新聞社
〒100-8077 東京都千代田区大手町1-7-2
東京 (03) 3231-7111 (大代表)
www.sankei-express.com

購読のお申し込み
☎0120-919-005
www.sankei-express.com

配達・集金などのお問い合わせ
☎0120-34-4646
sale-pro@sankei.co.jp

7日間無料お試しキャンペーン中!
首都圏限定、お支払に、Webフリーダイヤルで
ご購読・お申し込みできます。

月々の
2,100円(税込)

1冊売り
100円(税込)

購読料のお支払いがクレジット決済で、
お申し込みは ☎0120-73-2950
※一部お取り扱いできない販売店があります

11. 平成 21 年(2009)5 月 31 日(日) SANKEI EXPRESS 日刊 917 号 32 面
「オバマ語らずとも?」

東大レゴ部

所在地

東京大学駒場キャンパス学生会館 312 号室



沿革

- 平成 18 年(2006 年) 10 月 三井淳平らにより東大レゴ部創設
- 平成 19 年(2007 年) 5 月 第 80 回五月祭 MF Awards「文化部門」1 位
- 平成 19 年(2007 年) 7 月 日本橋三越本店「こども博」にて展示
- 平成 19 年(2007 年) 11 月 第 6 回東京大学ホームカミングデイに作品提供
- 平成 19 年(2007 年) 11 月 レゴブロックで制作した「安田講堂」が
東京大学創立 130 周年記念事業「知のプロムナード」に認定
東京大学内にて常設展示へ
- 平成 20 年(2008 年) 5 月 第 81 回五月祭 MF Awards「学問・展示・実演部門」3 位
- 平成 20 年(2008 年) 11 月 第 7 回東京大学ホームカミングデイに作品提供
- 平成 21 年(2009 年) 5 月 第 82 回五月祭 MF Awards「学問・展示・実演部門」2 位
- 平成 21 年(2009 年) 11 月 第 8 回東京大学ホームカミングデイに作品提供
- 平成 21 年(2009 年) 11 月 第 61 回駒場祭 構内案内マップとして
レゴブロックで制作した「駒場立体地図」を展示
- 平成 22 年(2010 年) 5 月 第 83 回五月祭 MF Awards「学問・展示・実演部門」2 位
- 平成 22 年(2010 年) 6 月 江戸東京たてもの園 特別展「けんちくのしくみ」にて展示

受賞

- 第 80 回 五月祭 MF Awards 「文化部門」 1 位
- 第 81 回 五月祭 MF Awards 「学問・展示・実演部門」 3 位
- 第 82 回 五月祭 MF Awards 「学問・展示・実演部門」 2 位
- 第 83 回 五月祭 MF Awards 「学問・展示・実演部門」 2 位

代表的な作品



安田講堂
制作(2007)



赤門
制作(2008)



ユータスくん
制作(2009)